

牧阿佐美バレエ団のプリ  
ンシパル（最高位）、清瀧  
千晴さん（31）は趣味でチェ  
ロとピアノを弾く。「チェ  
ロは音の響きが人の声に近  
く、奏でていて心地よい」。  
楽器を持った立ち姿は、背  
筋がすっと伸びて美しい。

音楽家の両親を持ち、楽  
器もバレエも3歳から始め  
た。使うチェロのサイズは、  
体の成長に合わせて変えて  
いく。「ずっと身近にある  
し、自分の体と一緒にサイ  
ズアップしていくので兄弟  
みたいな存在」とほほ笑む。

高校入学を機にバレエの  
道を選んだが、音楽は生活  
の一部。息抜きにしばしば

## 清瀧 千晴 さん



# 踊りと演奏 二刀流

ピアノも弾く。昨年11月の  
公演ではチェロでサンサー  
ンスの「白鳥」を弾き、ダ  
ンサーと共演した。直後に

に立ち、観客を沸かせた。  
「バレエは踊り、音楽、  
美術、衣装などが織りなす  
総合芸術です。この楽しさ  
を多くの方に伝えたい」。

9月には古典の名作「白鳥  
の湖」で王子役を踊り、観  
客にそのメッセージを伝え  
るつもりだ。（文・淵上え  
り子、写真・吉川綾美）

